

☆ 探鳥会 ここが見どころ聞きどころ ☆ 「ツバメのねぐら入り観察会」

山口雅生

日時：8月24日(日) 18:00～20:00

集合場所：諫早市中央干拓地 排水機場前駐車場

リーダー：山口雅生(携帯 090-9584-7830)

(メール mamsayama@gem.bbiq.jp)

【事前申し込みが必要です】

ねぐら入り観察会も今年で3年目になります。巣立ってまもなく独り立ちした幼鳥は、昼間は別々に餌をとっていますが、夜になるとアシ原などに集まって集団ねぐらを形成して眠ります。成鳥も繁殖が終わり次第、そのねぐらに加わります。ですから6月ころから徐々に増えていき、9月まで集団ねぐらは見られます。8月になると渡る準備ができた個体から順次渡って行きますが、北から移動してきた個体もねぐらに加わりますので、8月下旬から9月上旬あたりが九州ではもっとも大きくなるようです。

中央干拓地先のアシ原の先端部分に数万羽の大きな集団ねぐらがあります。陽が沈んだ後、ツバメに先立ち、スズメやムクドリもねぐら入りします。その後、いつの間にかツバメがどんどん集まってきました。双眼鏡や望遠鏡で見ると、絶え間なくツバメの流れが押し寄せてきて、次々にアシの中に入っていきます。堤防の上から観察しますが、頭上にも沢山のツバメが舞う時があり、肉眼でも楽しめます。声を発することもない30分間の静かなショーです。やがて気づけばツバメの姿はなくなっています。

遠くを川のように流れる群れは鳥の姿が小さいので、よくわからないという方もいましたが、今年は望遠鏡にスマホを装着できる器具を購入しました。初めての方でも確実に見られると思います。感動すること間違いなしです。

タヌキやキツネも見られるかもしれません。

集合場所は中央干拓先端の公園手前の橋を渡って左折した突き当りです。

帰るころは薄暗くなります。



ツバメのねぐら入り観察会 集合場所